

<2018年度理事会議事録>

日時：2018年4月22日（日）

11:00～12:15

場所：早稲田大学大隈会館N棟201～202号室

敬称略（年次）

出席者：櫻井昭一（11）、小谷部誠（12）、舟木健（13）、小林武司（15）、伊東勝英（16）、山本隆夫（17）、田嶋達夫（18）、左近允輝一（19）、萩原英次（22）、市川泰夫（23）、菊地正矩（23）、赤津隆昭（26）、三廻部秀男（27）、神保淳一（29）、川相智史（30）、佐藤佳一（32）、越智直実（36）、井城裕子（37）、石川知行（38）、佐伯秀彰（39）、沢木拓也（45）、青木覚（45）、渡辺幸倫（46）、鈴木裕介（47）、辻雄貴（55）、大門真一郎（62）、比呂増彦（68）

監事 鈴木豊（14）・・・出席者28名（うち理事25名、監事・副会長・監督計3名）

出席理事25名＋委任状提出者21名＝表決参加者計46名（総理事数65名、行使率71%）

<開会宣言及び議長選出>

石川専任理事より理事会の開会宣言がなされ、佐藤佳一会長に議長をお願いしたい旨の提案につき、全員異議なく了承。

<議長挨拶、書記指名>

議長は理事各位の会運営の協力を示した後、前執行部の路線は継承しつつ、現役部支援の一環として、現役部部員会への積極的な参画を通じて相互理解を深めることや就職活動を行う現役への就活支援活動をさらに積極化したことを説明。さらに、主要イベントとして、世代別懇親会ならびに故関先生の思い出を語る会、田島部長感謝の会を開催したこと、卒部生向けの慰労・歓迎会を行いOBOG会活動の啓蒙とともに会費納付手続等を行なった旨説明。

来年の創部70周年に向けての各種記念事業については、会員みなさんの力を借りて実現したい旨表明するとともに、本日の理事会では例年同様、事業報告・決算、事業計画・予算についての審議をよろしくお願いしたい旨挨拶。その後、神保事務局長を書記に指名する旨提案し、了承。

<理事会の表決及び議案の訂正>

議長の指名により神保事務局長は理事会の表決について説明。

理事会の議案は会則36条により、表決者の過半数の賛成で議案が承認されること、現時点で表決参加者は46名であることから、その過半数をもって議案が承認されることならびに本日の議決権行使率は71%（表決参加者46名/総理事数65名）である旨説明。

<書記の指名>

続いて会則35条により議長は神保事務局長を書記に指名。

<物故者黙祷>

議長から議案審議に先立ち、この一年間に亡くなられた会員の報告がなされた。

以下3名のご冥福を祈り全員起立し黙祷。

平成29年5月18日 10代 山賀保夫氏
平成29年12月9日 7代 飛鳥川明郎氏
平成30年3月29日 10代 山田榮一氏

<議案審議>

議案1. 2016年度事業報告案

石川専任理事は議案書に基づき、主な催事及び重点実施項目について項目毎に補足を加えつつ説明。本年度も10件の催事を実施したが、43名が参加した21代~40代世代別懇親会ならびに故関先生の思い出を語る会、89名が参加して現役部4年生を含め指導を受けた各代から幅広く幹事を募り開催した田島先生感謝の会など会員相互ならびに会の活性化に資する活動を推進。

現役部との交流・支援推進として、益田新任部長との円滑な引継サポート、現役学生の就職支援、卒部学生向けの慰労・歓迎会を実施。

新実技講師による新たなカリキュラム遂行に向けて全面的な支援を実施。

早稲田アリーナ募金については、目標300万円を大幅に上回る369万円を達成。

70周年記念事業に向けた準備として、2019年11月9日(土)開催予定の記念式典ほか各種実行委員会の組織化に着手。

質問はなく、採決の結果、議案1. は賛成多数で原案の通り承認。

議案2. 2016年度決算案

鈴木常任理事は議案書に基づき、当初予算との差異等を中心に説明を行った。

- (1) 一般会計の収支について予算比大きな差異のある項目について説明を行った。収入面では当初予算比33千円の収入増、会費納付率は90%(前年実績87%)。支出面では会員総会懇親会費支払等に伴い会議費が予算対比増となったほか、慶弔費については会員の結婚祝電等により予算内ながら前年比支出増。
- (2) 山小屋資金会計は山小屋管理者への謝礼を一般会計からの繰入資金で支払。
- (3) 遭難対策資金会計は受取利息増のみの変動。
- (4) ワンゲル基金では支出面で卒部者1名の借入返済に伴う免除金50千円を計上。

鈴木監事より、4/4に監事監査を行った結果、適正に処理されていることを確認した旨説明。

質問はなく、採決の結果、議案2. は賛成多数で原案の通り承認。

議案3. 2016年度役員案

佐藤会長は執行部及び新理事、特別委員会新任、稲門体育会代表委員等変更点について説明。

萩原、市川両副会長の退任、石川専任理事の副会長就任、辻常任理事の専任理事就任、36代越智直実理事が広報・催事担当、37代井城理事が会報担当、41代前田理事が就活支援・催事担当、68代比呂理事が就活支援・催事担当として、新たな常任理事に就任する旨説明。

新任の副会長、専任理事、常任理事、理事(15代小林理事、18代田嶋理事)からご挨拶。(41代

前田常任理事は欠席)

退任される萩原副会長、市川副会長からご挨拶。

稲門体育会代表委員…代表委員：18代寺光OBから38代松延OBに交代。

質問はなく、採決の結果、議案3. は賛成多数で原案のとおり承認。

議案4. 2017年度活動方針および事業計画案

辻常任理事(次期専任理事)は、2018年度活動方針及び事業計画案について説明を行った。

- (1) 現役部との交流・支援
- (2) 実技授業の円滑な遂行の支援
- (3) 広報活動のさらなる充実化
- (4) 財政の安定化に向けた会費納付方針見直しと一般会計繰越金活用
- (5) 催事計画：70周年記念行事として、実行委員会と分科会を組織し、企画・運営を行うとともに、交流イベントとして複数年次交流会を順次実施。

定例二大催事：山荘祭は今年度妙高山小屋開催、スキー祭は妙高山小屋以外で検討。

<質疑>

山本理事(17代)より、「議案の中で、2. 事業計画(2)⑤において海外合宿について言及しているが具体的な動きがあるのか?」との質問あり、沢木監督(45代)から「70代となる3年部員、71代2年部員が海外合宿を検討していること」佐藤会長から「OBOG会としても支援を検討したい」旨説明し、山本理事から「了解」の旨回答あり。

その他は質問なく、採決の結果、議案4. は賛成多数で原案のとおり承認。

議案5. 2018年度会費納付運用方針ならびに一般会計繰越金対応方針案

神保常任理事は、2018年会費納付運用方針ならびに一般会計繰越金対応方針案について説明。

- (1) 卒部生の一律会費納付、長期会費未納付会員向け対応等
- (2) 未納付会員に対する常任理事による納付働きかけ
- (3) 一般会計について、繰越金残高100万円維持を前提とした繰越金の有効活用(70周年記念事業等)を行う。

質問はなく、採決の結果、議案5. は賛成多数で原案のとおり承認。

議案6. 2018年度予算案

鈴木会計担当常任理事は、議案書に基づき前期比で変動のある項目について説明。

- (1) 一般会計年会費収入については、会費減額対象者増加もあり、前年度比微減。
- (2) 催事活動費は前年度同額を計上
- (3) 卒部生慰労・歓迎会費用30千円、70周年記念事業費2018年度分300千円、会員名簿作成費100千円を計上。
- (4) 山小屋資金会計、遭難対策資金会計、ワンゲル基金会計については、例年通り。

質問はなく、採決の結果、議案6. は賛成多数で原案のとおり承認。

報告1. 現役活動状況

沢木監督より、春合宿（関田山脈）の無事終了、新人勧誘状況（5名入部、うち男性4名、女性1名）、部員構成（4年：4名、3年：7名、2年：6名、新人：5名、計22名）ならびに新歓合宿最終日の4/29に新歓合宿キャンプファイヤーを行う旨説明。

海外赴任となった中島コーチ（51代）の後任に小山OB（63代）がコーチ就任。

報告2. 実技授業状況

渡辺実技講師より、今年度実技授業の状況について説明、昨年度実績（登録者15名、参加者11名）と同程度の参加者を見込み、火打山・笹ヶ峰を中心とした活動を計画。

報告1, 2について、質問なし。

<閉会宣言>

佐藤議長は全ての議案の審議が滞りなく終了した事、議事進行についての協力に感謝の意を述べ、2019年度の70周年に向けて、体制づくりの準備等、各位のご協力をお願いしたい旨申し入れ。

5月27日の会員総会への出席要請・協力依頼を行ったうえで、本理事会の閉会を宣言した。

以上

書記 神保淳一（29）